

県指定 無形民俗文化財

葛原神楽



葛原神楽は、葛原天満社の春・秋祭りの際に奉納される。この神楽は明治の初めに旧大野郡清川村の神楽々長和田数馬ほか数名を招き、伝授を受けた御嶽流岩戸神楽である。本来御嶽神楽は三十三番からなるが、この地区に伝承されているのは十二番である。舞は雄々しく荘重であり、葛原地区民全員が正確な技術習得に努めたので、舞い方の古い姿が受け継がれている。